

リンカとローダで  
遊んでみよう！  
～知られざるリンクの世界～

坂井弘亮  
(KOZOSプロジェクト)



**資料は以下にあります**

**[http://www.saturn.dti.ne.jp/  
~hsakai/linker.html](http://www.saturn.dti.ne.jp/~hsakai/linker.html)**

**聞きながら試したい人は  
サンプルコードを  
ダウンロードしてください  
(FreeBSD用です)**

# 略歴

1997年頃 プログラミングに傾倒

X Window System プログラミング  
オブジェクト指向プログラミング  
OSに興味を持つ

1999年 就職

組込みシステムに興味を持つ

2007年 自作組込みOS「KOZOS」の開発を  
趣味で開始

2009年 OSC出展

KOZOSを実ボードに移植

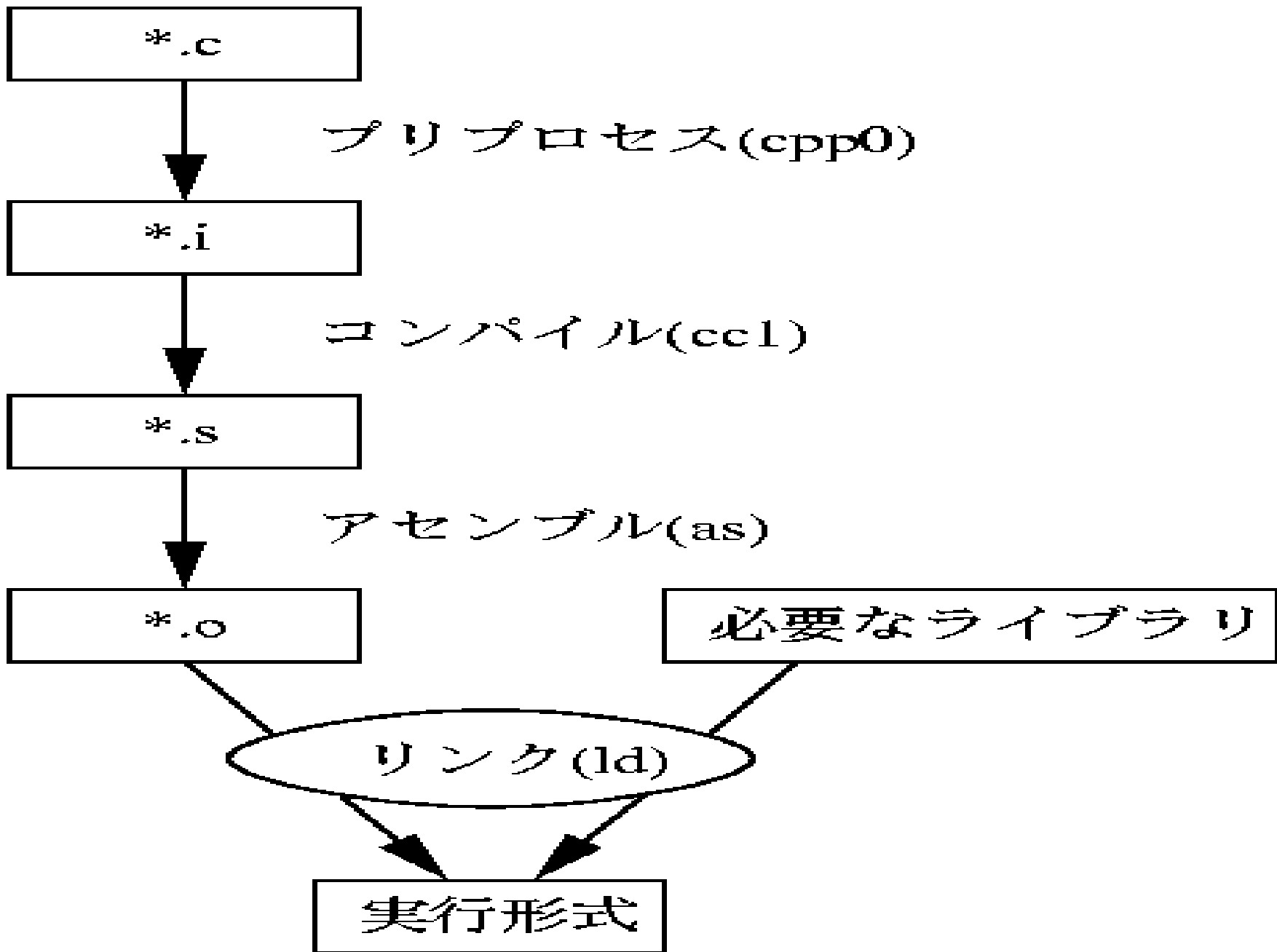
2010年 「12ステップで作る 組込みOS自作入門」  
出版

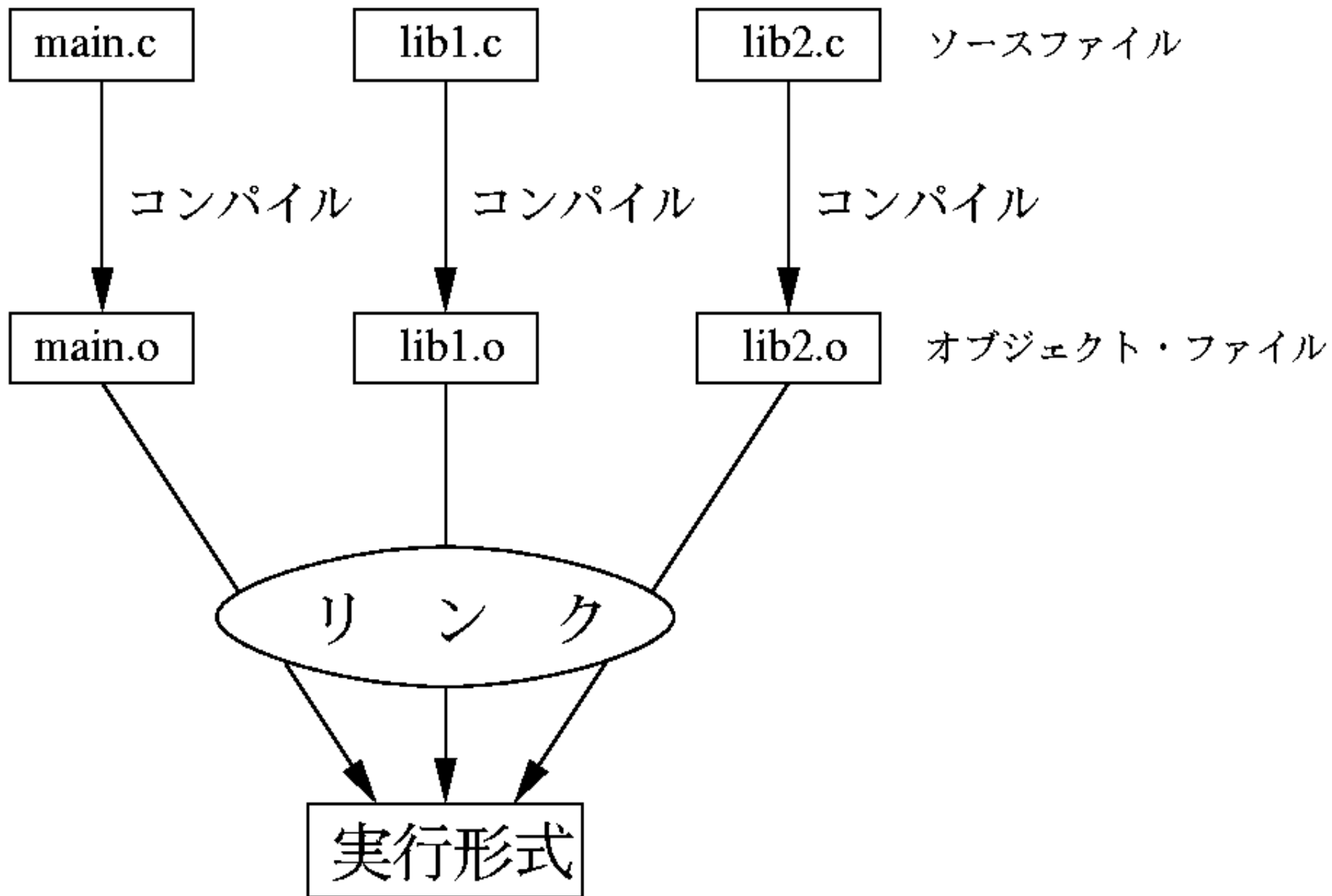
基礎知識の説明後、  
デモをします  
リンカやローダで  
いろいろ試したり  
遊んでみたりします

1. テキスト、データ、BSS領域
2. オブジェクトファイルフォーマット、ELFフォーマット、セクション
3. リンカスクリプト
4. コア・ファイル
5. シンボル、再配置

そもそも  
「リンカ」って何？









# 実行形式ファイルを作成するために...

- ・複数のオブジェクト  
ファイルをまとめる
- ・ライブラリもまとめる
- ・ファイルをまたいだ  
関数呼び出しを解決する

じゃあ、  
「ローダ」って何？



- ・CPUが実行できるのは、メモリ上の機械語コードのみ
- ・プログラムを実行するには、HDD等からメモリ上に展開する必要がある(ロード)
- ・ロードを行うためのプログラムを「ローダ」という
- ・いわゆる「ブートルoader」もローダの一種

# なぜ今「リンカ」が熱いのか…？

- ・OSのカーネルのソースなどでは、リンカやローダの機能を駆使した書き方をされることもある
- ・組込みではメモリマップを意識したプログラミングが必要になるので、リンカやローダの知識が要る

- ・ソフトウェア・セキュリティの分野では  
実行形式をバイナリハックして  
脆弱性を解析したりすることも
- ・最近ではJITコンパイラや動的最適化  
のために必要になることも…？
- ・バイナリハックとか、流行りだし  
(バイナリアンのかた、いかがで  
しょうか？)

・まあでも、このへんのことも知らないとなんか気になるし面白そうだし知りたいじゃん!

・リンカとローダを駆使すると、C言語のレベルでは不可能なおもしろいことができる!

(注)実用的かどうかは別問題

1

テキスト、  
データ、  
BSS領域

# 実行形式には3つの領域があります

- ・テキスト領域

  - ...機械語コードが配置される

- ・データ領域

  - ...静的変数が配置される

    - ロードのときに展開される

- ・BSS領域

  - ...初期値無し of 静的変数が

    - 配置される

    - ロードのときにゼロクリアされる



**int value = 1; ...データ領域へ**

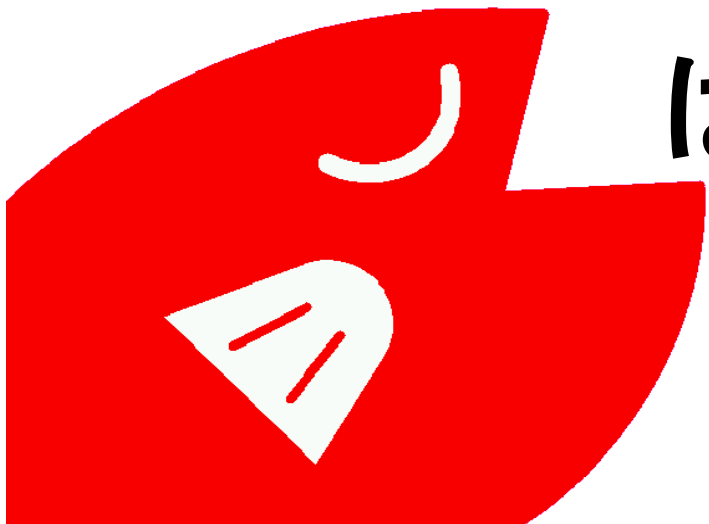
**int value2; ...BSS領域へ**

**int main() ...テキスト領域へ**

**{**

**...;**

**}**



はいここで実験です！

- **const変数書き換え**
- **文字列リテラル書き換え**

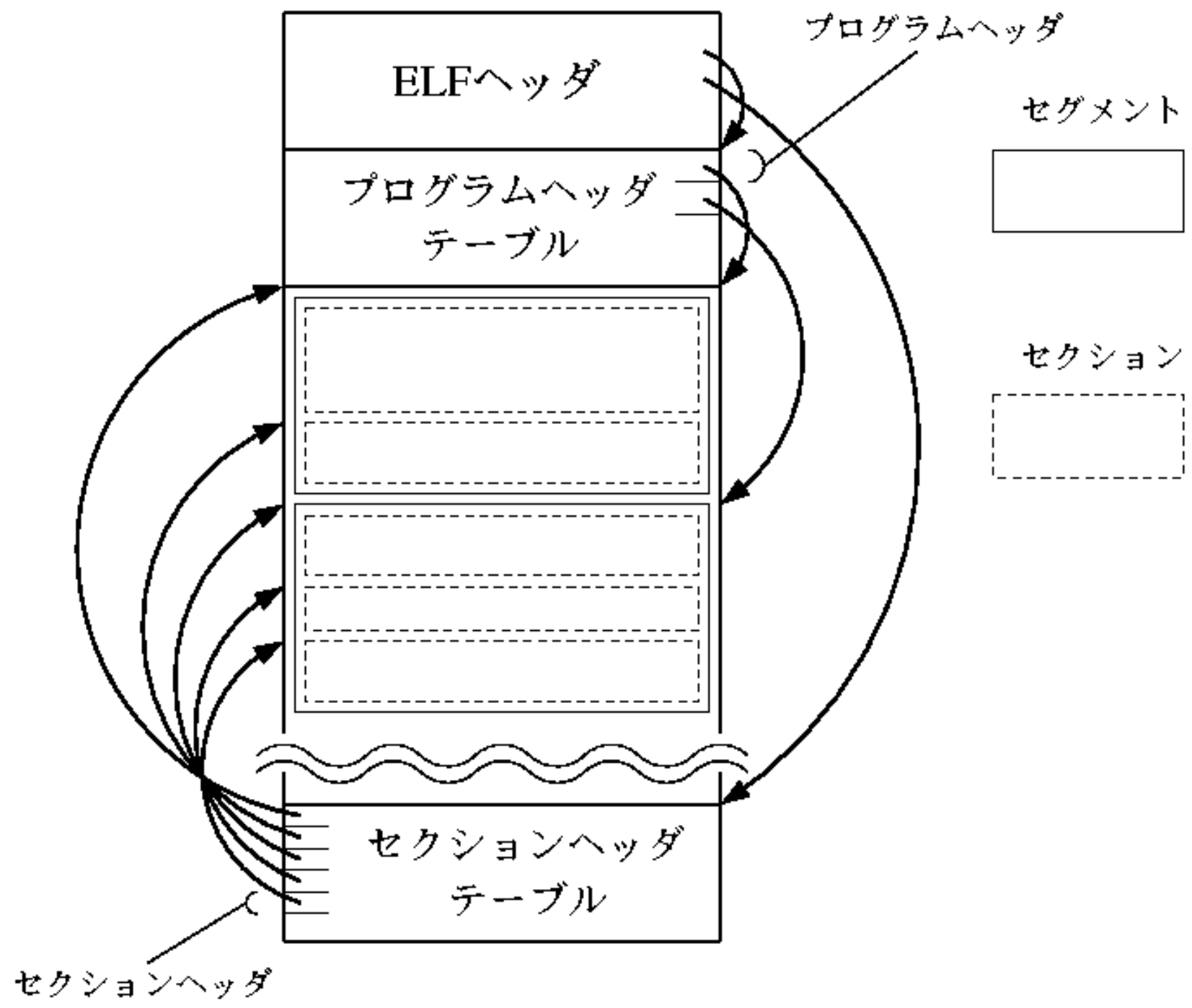
2.

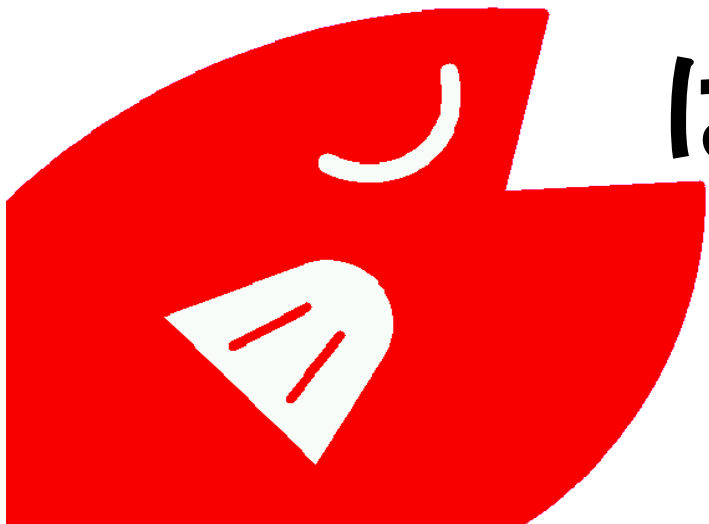
オブジェクトファイル  
フォーマット、  
ELFフォーマット、  
セクション

- ・オブジェクトファイルフォーマット
  - …オブジェクトファイルや実行形式のファイルフォーマット
- ・a.out形式、ELF形式、COFF形式など

# ELF形式

- ・オブジェクトファイル、実行形式、コアファイル、共有ライブラリが表現可能
- ・バイエンディアン、32/64ビット対応
- ・セクションとセグメントの細かい設定
- ・かなり万能のフォーマット





はいここで実験です！

- ・ELF形式の解析
- ・セクションの作成
- ・バイナリデータ埋め込み
- ・簡易ローダ作成

3.

リンカスクリプト



- ・リンカスクリプト  
…セクションの配置などを  
細かくチューニングできます
- ・組込みとかでは必須なのに  
あまり資料が無い！

# リンカスクリプトを見てみよう！

リンカスクリプトのファイル名は、様々。  
拡張子が決まっていないので、いろんな名前になっている。

例(ちょっと古い情報です)

FreeBSDのカーネル

`/usr/src/sys/conf/ldscript.i386, ldscript.alpha`

FreeBSD のアプリケーション用

`/usr/libdata/ldscripts/elf_i386.x, elf_i386.xn, elf_i386.xs`

Linux のカーネル

`arch/$(ARCH)/kernel/vmlinux.lds.S`

(この他にもカーネルローダ用やramdisk用などが点在している)

Linux のカーネルローダ

`arch/i386/boot/compressed/vmlinux.scr`

`arch/sh/boot/compressed/vmlinux.scr`

`arch/arm/boot/compressed/vmlinux.lds.in`

`arch/ppc/boot/ld.script`

NetBSD のカーネル

`sys/arch/mmeye/conf/sh.x`

`sys/arch/i386/conf/kern.ldscript`

`sys/arch/sparc/conf/kern.ldscript`

`sys/arch/mips/conf/kern.ldscript`

(この他にもカーネルローダ用が点在しているようだ)



はいここで実験です！

- ・バイナリデータ埋込み(2)
- ・静的変数の再初期化

ここでちよつと  
紹介タ〜イム！

**組込み勉強会  
やります！**

# 「組込みこそぞう勉強会」

9月25日(土)

東京近郊

良い場所、探しています

**宣伝終わり！  
本編に戻ります**

4.

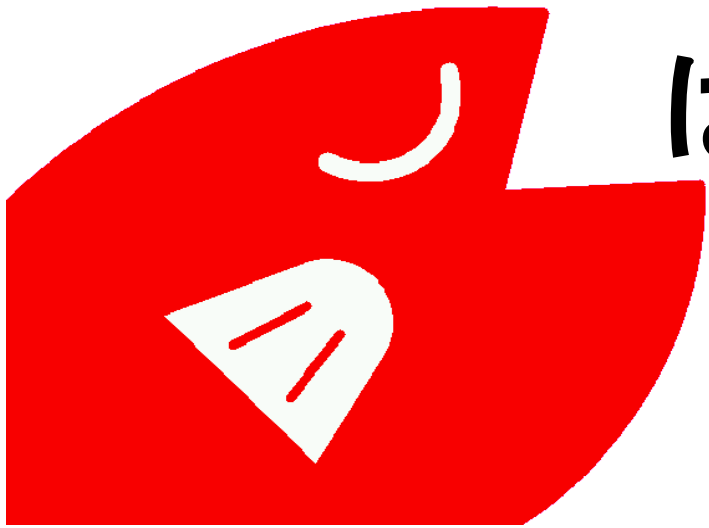
コア・ファイル



コア・ファイルとは？  
アプリが不正メモリアクセス  
とかでダウンしたときに、  
生成されるファイル  
「\*.core」ってやつ  
（「コア」という名前が  
歴史を感じさせる）

コア・ファイルも  
ELF形式だって  
知ってた？

ダウンしたときの  
メモリのダンプとかが  
格納されています



はいここで実験です！

- coreファイル解析
- coreファイルからの  
動作再開

5.

シンボル、  
再配置

# 再配置

コンパイラが作成した  
オブジェクトファイルでは、  
ファイル間をまたいだ関数の  
呼び出しや変数の参照部分は、  
空欄になっています

(アドレスが決定されていないため)

- リンク時に決定されます(再配置)
- リンク時に補填されます(名前解決)

# 再配置のためには…

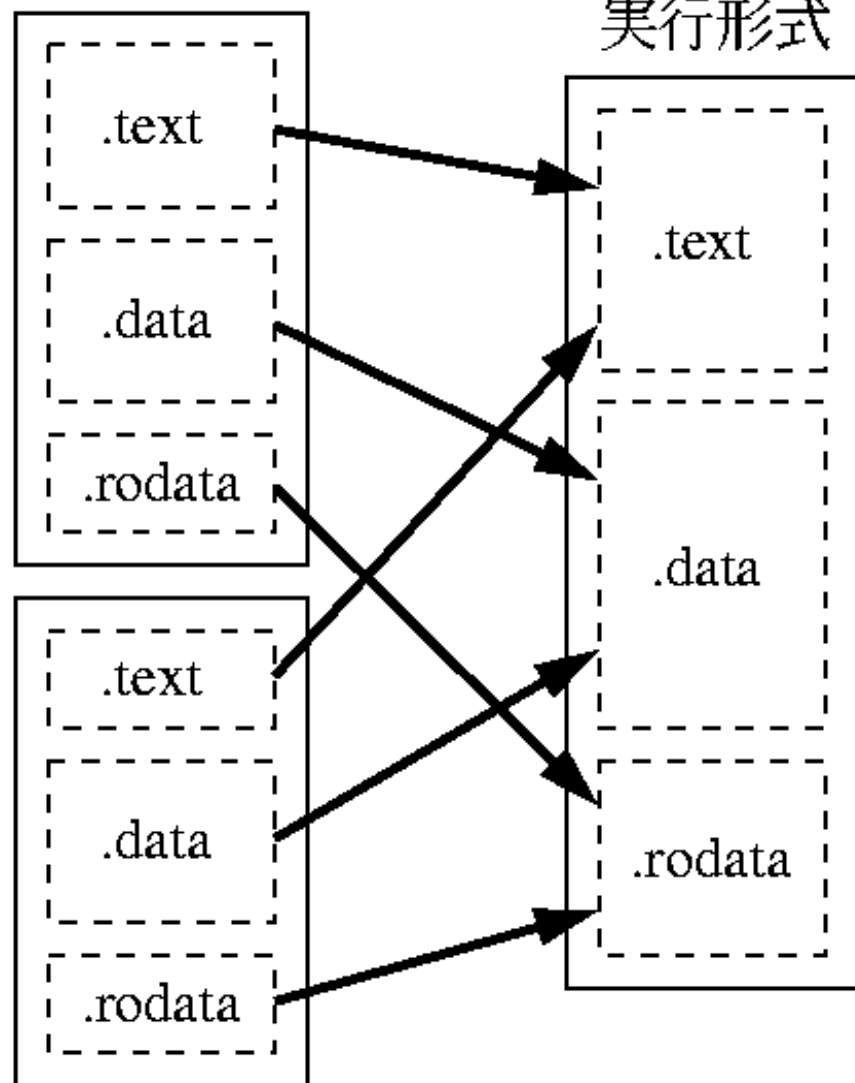
変数の参照や  
関数の呼び出しごとに、  
どの変数や関数を  
呼び出すのかの  
情報が必要  
(再配置エントリ)

```
void func()  
{  
  extern int value;  
  value = 1;    ...valueの再配置エントリが必要  
  func2();     ...func2の再配置エントリが必要  
}
```

```
int main()  
{  
  func();      ...funcの再配置エントリが必要  
}
```

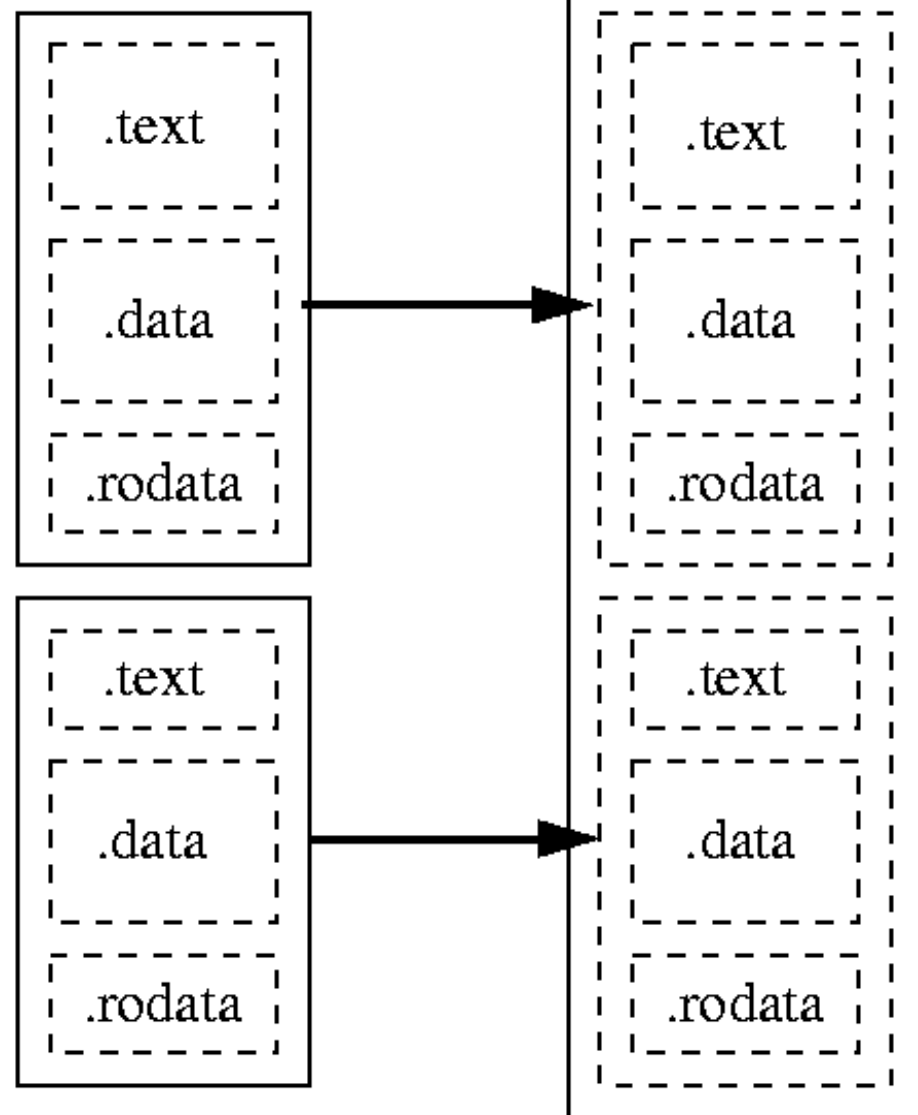


オブジェクトファイル

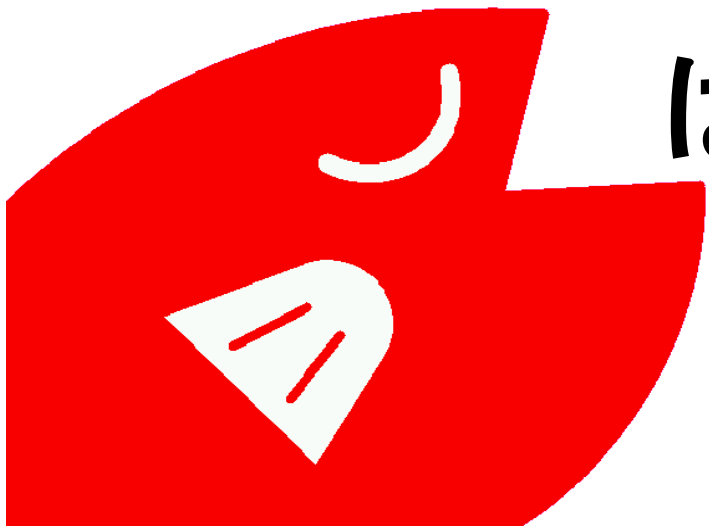


(a) 通常のリンカ  
(セクションをまとめる)

オブジェクトファイル



(b) 簡易リンカ  
(セクションをまとめない)



はいここで実験です！

- 再配置の実際
- 簡易動的リンク作成
- 簡易静的リンク作成

最後にちよつと  
役に立つものを

...



不要シンボルの  
チェックツール  
(checksym)

**オブジェクトファイルを  
与えると...**

**利用されていない  
変数、関数の一覧を  
出力してくれます**

ちよつと試して  
みましよう

そろそろ、  
まとめに  
入りますが

どうでしたか？  
リンカって  
面白いでしょ？



でも、リンカやローダの  
情報って、あまり無い  
(ネット上も、書籍も)

あったとしても、  
単発だったり、  
他の情報のおまけの  
内容だったりして、  
まとまっていない

**リンカやローダの  
専門的な情報として、  
まとめられていない！**

OSを  
いじろうとしたときに、  
これが一番困った

なんとか

ならんもんか...

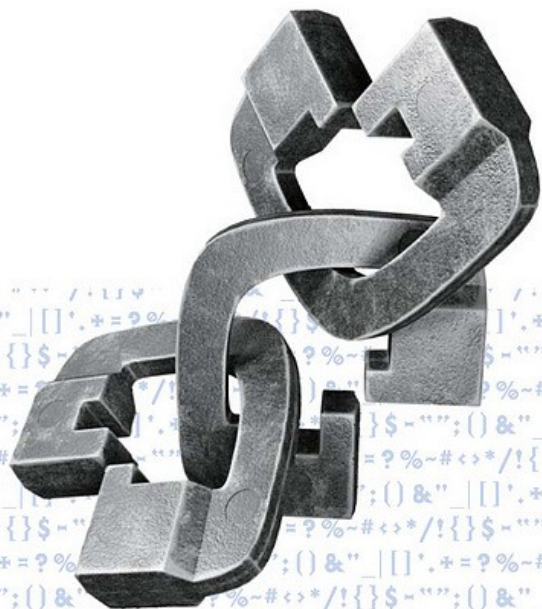
じゃ、書くか!



実行ファイルを作成するために必須の技術

# リンカ・ローダ 実践開発テクニック

坂井 弘亮 著



# CQ出版 より 8月9日 発売!

**各方面から  
賛辞の声が！**



「これは、素晴らしく  
マニアックですねえ」

「相変わらず、  
マニアックなものを  
書きますねえ」

「これからもぜひ、  
マニアックなものを  
書き続けてください」

ほめられた！

みんな、  
バイナリハックが  
好きなんだなあ……

おしまい

